



ヒドリガモ♂♀



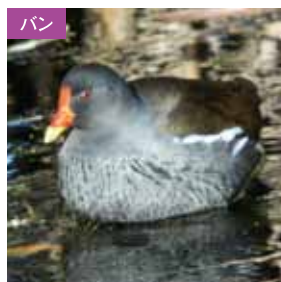
カンムリカイツブリ求愛のポーズ



カモの群れ



ユリカモメ 魚捕り



バン

宿河原堰の付近は、通年いる野鳥に加え、冬だけ来る数種のカモ類、白く可愛いユリカモメの群れ、少数ですが優美なカンムリカイツブリなど、多くの野鳥で賑やかになっています。

冬の水辺の野鳥

カモ類は植物性の餌を採食するものが多く、堰下で逆立ちして川底の水ゴケを食べている姿も良く見られます。また、カモ類の雄は綺麗な色で種の判別が簡単ですが、雌は茶系の色のものが多く、頭部を隠して休んでいる場合など種の判別が難しいこともあります。ユリカモメは堰の柱で休んでいることが多いですが、賑やかに飛び回っていることもあります。雑食性ですが、時には、カワウやサギ類などと一緒に、堰下で餌の魚を捕っていることもあります。カンムリカイツブリは、2羽が向き合って求愛ポーズをとることもあります。

なお、これらは「せせらぎ館」に常備してある望遠鏡でも見ることができますので、楽しんでください。

最近良く見られる水辺の野鳥（留鳥を除く）

・カモ類：コガモ、マガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ

・カモメ類：ユリカモメ、セグロカモメ

・その他：カンムリカイツブリ、バン（一部の個体は留鳥）、オオバン（一部の個体は留鳥）、キセキレイ

時には、上記以外の鳥も来ていることがありますので、探してみてください。

（宿河原／大野 章 写真・記）

山梨県、丹波山村(たばやまむら)の伝統行事

「お松引き」に行ってきました！

【1月7日 日帰りバスツアー】



丹波山村の「お松引き」は、熊野神社から道祖神まで村のメイン道路を綱引きの要領で修羅を引いていきます。途中、振舞い酒やみかんが撒かれ老若男女が童心にかえってみかんやお菓子を取り合います！

当日は、“快晴”絶好の祭り日和に恵まれ、登戸駅を8時30分に出発、約50名(30歳の若者から84歳の元気な高齢者が参加、年齢差=54歳!)の参加者はバスに揺られて多

摩川の源流の村に向いました。正午前に現地に到着、昼食後、祭りが始まるまで周辺を散策しました。村の中は、昨年より人出が少なく、少し寂しい雰囲気でした。それでも修羅の出発の時間には多くの人が集まり、重たい修羅が無事に動き出しました。村はずれの道祖神まで引いてお松引きは無事終了です。14日に道祖神前の広場でお松焼きで正月の松飾りは燃されます。